



リクシル ライフアシスト2 発表

自宅を今話題のスマートホームにしたい！



LIXIEL (リクシル) はホームデバイスをインターネットに接続し、住宅設備機器や建材、家電とつなげるだけで「スマートホーム化」を実現するIoTホームLink、「Life Assist2」を7月1日発売しました。ホームデバイスの参考価格は5万5000円。「毎月の使用料が不要」「設定は自宅のルーターと接続してペアリングするだけ」、これまでに簡単に使いやすくなっています。スマートホームに興味はあるけど、なんだかややこしそうだし、コストも気になるし…。LIXIELの「ライフアシスト2」がそんなお悩みを解決します。

動画でわかる
Life Assist2のある暮らし

LIXIL YouTubeチャンネル
5分ほどの動画で、便利な暮らしの様子をご覧いただけます。

インターネットと接続し、住宅設備、家電などの機能とつなげるだけでマイホームがスマートホームに変身。毎月の費用も不要で、一つ先の便利で安心な暮らしが実現できます。

1 スマホや音声でラクラク操作

OK Google
電気をつけて

帰宅時にスイッチに触れずにひと声で

Alexa,
シャッターを
開けて

お料理中で手が離せないときもひと声で

買い物帰りや料理中で、両手がふさがっているときに助かるわ～

2 暮らしのシーンに合わせてまとめて自動に

温度・湿度・照度

30℃を超えたら、自動でエアコンON

寝苦しい夜や、仕事帰りにクーラーが効いてたら嬉しいなあ

GPS

最寄り駅に到着したら、自動でエアコンON

スマートホームにすると具体的に何ができるの？

3 外出中でも安心の見守り機能

わが家を見守る

敷地内への不正な侵入を感知したら、異常発生をアプリで通知

ペットを見守る

留守番中のペットの様子をスマホでチェック

家を空けていても、外出先から家の周囲を見れたり鍵をかけられるから防犯もバッチリ！

子どもを見守る

学校から子どもが帰宅したら、アプリで通知

遠方の家族を見守る

外出確認や、電気の使用状況などで、離れて暮らす家族の安否を確認

子どもが無事に家についたか、家の中を確認できると安心！

お手持ちのスマートフォンがコントロールセンターに変身！
家中の機器を操作、設定が簡単にできるようになりました。何ができるのか、左図に具体的な使用例をあげてみました。
①…スマホでの基本操作ができるということです。一例を上げていますが、照明のON・OFF、シャッターの開閉、TV、オーディオの操作が可能となります。
②…エアコンやお風呂の温度設定や照明設定ができますので、生活時間に合わせた便利で快適な状況を作れます。
③…室内にカメラを設置すると、スマートフォンで家の中の状況が見えます。鍵のかけ忘れや、不正侵入の感知などもわかります。

ソーラーカーポートご紹介

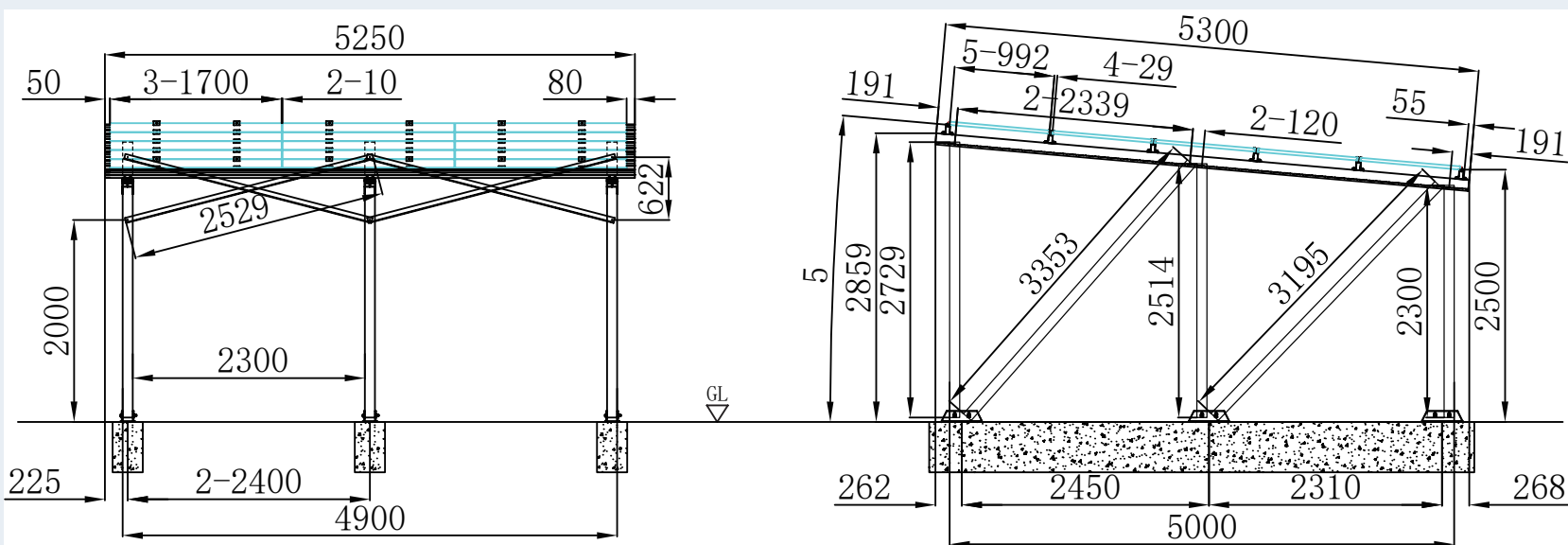
**カーポートをお考えでしたら
ぜひソーラーカーポートを！**

従来、太陽光発電というと自宅の屋根に設置という方法が一般的です。しかし、自宅の立地条件、屋根形状によっては設置が難しいというケース、または、屋根に太陽光パネルは載せたくないという考えの方もいらっしゃると思います。

車庫やカーポートに設置できないのかというご要望は以前よりかなり多く、今回ご紹介するソーラーカーポートは、**耐荷重、耐風基準を満たした最高ランクの商品**です。下記にご紹介しているものは標準的な車2台用のカーポートになります。(サイズは自由にオーダー可)



▲ソーラーカーポート設置例
太陽光パネルを設置することを考慮して設計された「太陽光発電一体型」



設置にかかる費用 ① 1,746,800円 (税込)

ソーラーカーポートによる年間売電額 ② 58,598円 / 年 (売電 19円計算、10年以降は 8.5円計算)

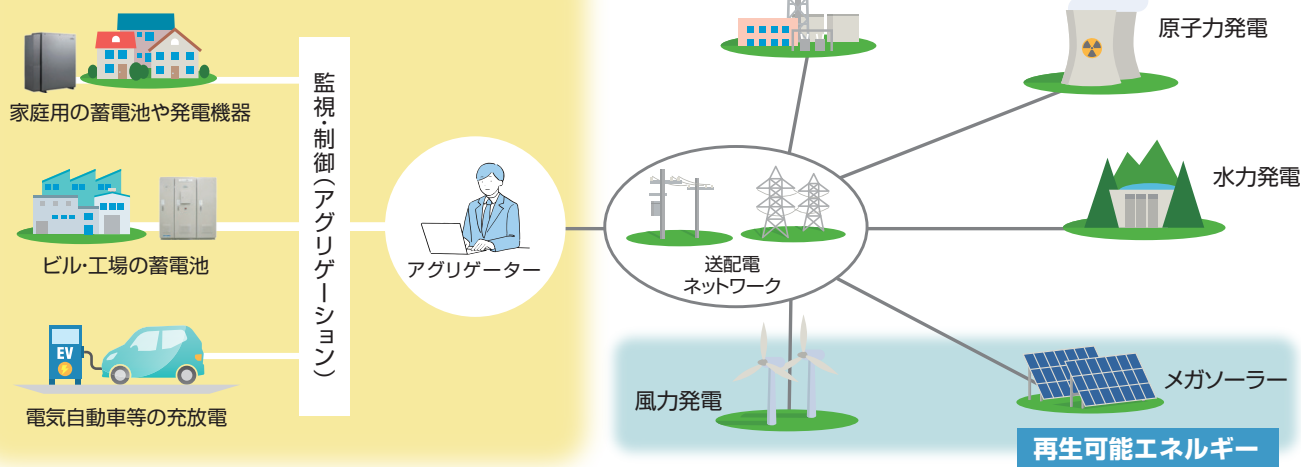
年間自家消費分額 ③ 47,268円 / 年 (28円計算)

$$105,866 \text{円} \times 16.5 \text{年} = ④ 1,746,789 \text{円} \quad ① - ④ = 1,746,800 \text{円} - 1,746,789 \text{円} = 11 \text{円}$$

(A + B)

上記のようにソーラーカーポートを設置した場合、初期投資回収はほぼ 16.5 年で実現し、その後のメリットとして年間 80,766 円の効果が得られます (自家消費分を含む)

仮想発電所 (VPP)



DERとは電力の発電に関して、従来の大規模発電、例えば、火力・原子力・水力・メガソーラー・風力といったものではなく、工場や家庭に設置した太陽光システム、電気自動車などで発電した電力を効率よく管理・運営するというシステムのことをいいます。今回の補助金は、蓄電池とHEMS機器を設置した場合に、補助金として最大66・8万円が支給されるものです。

■ DER とは

SII (一般社団法人環境共創イニシアチブ) が進めている分散型エネルギーソース、**Distributed Energy Resources** の略称です。



**総額45億2千万円
DER補助金開始**